

長土地区
今月の気になる人

岡豊支所管内より

弟さんと二人三脚で頑張っています
森田 英治さん (42)

イチゴ農家の森田さんは、弟の洋さんと15アールのハウスで「さちのか」を育てています。大学が農学部だった2人は、洋さんから「農業をやりたい!」と相談を受けたことをきっかけに2人で就農。今年で16年目になります。細かい作業が好きな森田さんは、無駄な葉や花の摘み取り作業やハウスの掃除に毎日いそんでいます。品質を完璧に保つのは難しいですが、病気や昆虫からの被害を抑えることを目標に毎日弟さんと奮闘しています。



大川支所管内より

大川の子どもらしく育てほしい

和田 照生くん (5)
和田 成美ちゃん (11カ月)

妹に優しく、面倒見のいいお兄ちゃんの照生くん。今年から保育園の年長さんになり、今まで以上にしっかりしてきました。最近は自転車の練習やYouTubeに夢中です。妹の成美ちゃんは、お兄ちゃんが大好きで一緒にいる時はいつもニコニコ笑顔。まだまだ歩きの練習中ですが、最近は2、3歩歩くようになり少しずつ成長を見せています。「大川の子どもらしく、優しい子に育てほしい」と、2人の成長をご両親も楽しみにしています。



南国中央支所管内より

俳句は毎月出しています
中澤 琴代さん (72)

毎月、南国中央支所の支所だよりに俳句を投稿してくれる中澤さん。熊本にいたお母さんの影響もあり、昔から自己流で俳句や短歌を作っています。直販所「かざぐるま市」には運営当初から様々な農作物を出荷しており、今までに15種類の農作物を栽培してきたそうです。生け花やお寺巡り、カラオケなど多趣味で活動的な中澤さん。ご自宅に咲いた菜の花がとてもキレイでした!



大川支所管内より

元気な町を発信したい
唐木田 雄太さん (34)

平成30年3月に東京から地域おこし協力隊として、いの町本川地区に1ターンした唐木田さん。普段は有効地を使って生産活動や有害鳥獣駆除などをしていますが、週末はいの町戸中にある「木の根ふれあいの森」の研修棟で、「cafe&bistro木の根に萌す。」をオープン。主に大豊町で処理されたイノシシやシカ肉を使ったジビエ料理を地元産の野菜と共に提供しています。今後は、これらの活動を通して「元気な町の町」を宣伝していきたいそうです。



三和支所管内より

実は写真が苦手です

飼い主：田所 房子さん
ペット：アイちゃん (11)

房子さんのご主人に「もっと活動的になってほしい」と甥が勧めたシーズーのアイちゃん。最初は近所を散歩していたご主人ですが、今は房子さんが散歩に連れて行きます。とても賢いアイちゃんは、散歩に行く時間や夕飯の時間になると起き上がり、房子さんをキラキラした瞳で見つめて催促します。月2回のトリミングでは髪飾りを必ずつけてもらうなど、オシャレは手を抜きません。写真が苦手なアイちゃんですが、最後まで根気強く付き合ってくれました!



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 南国市地域

黄色い交通安全傘を贈呈



校長先生に傘を手渡す山本支所長

土長地区は、今年の春に管内小学校新入学児童に「黄色い交通安全傘」をプレゼントしました。これは地域貢献活動の一環として、交通安全や被害者救援活動などに取り組むJA共済が、毎年JAを通して行っている活動です。今年管内にある18校に計510本を入学祝いとしてプレゼントしました。十市小学校へは、十市支所・山本修司支所長が訪れ、63本の傘を贈呈しました。

3 れいほく地域

令和2年産水稻作業始まる



作業を行うれいほく未来の職員

4月に入り、れいほく地区では本年度の水稻育苗作業が始まりました。今年も昨年同様、JA出資型法人「株式会社れいほく未来」が管内にある育苗施設で、水稻種子の芽だし作業や、専用の播種機を使用した苗箱への播種作業を行います。播種予定の苗箱数は1カ月間で約10万枚を予定しており、4月中旬に作業のピークを迎えます。担当するれいほく未来の社員は、豊作を祈願しながら水稻作業に励んでいます。

6 南国市地域

浅水代かき実践会



新型の代かきハローを確認する参加者

南国市稲作部は3月24日、南国育苗センター近くの廣井智さんのほ場で「浅水代かき実践会」を開きました。水稻農家や行政担当者、JA職員など約20人が参加し、環境に配慮した米作りを学びました。田植え前の代かき作業による濁水が、流出して河川から海に流れ込むことで起こる生態系や景観への悪影響はかねてから問題視されています。JAと稲作部は、田植え前の「浅水代かき」と「止水版使用の普及」を進めることで濁水流出対策をとっています。当日は、参加者同士の意見交換も積極的に行われました。

4 南国市地域

手作りしょうゆ加工



力作業の麹造り

女性部南国市地区は3月24日から、南国市岡豊町笠ノ川のみそ加工所でしょうゆ加工を始めました。加工所利用会員となった女性部員が、国産大豆と小麦を使って麹を作ります。30年以上続くしょうゆ加工は手間暇がかかりますが、自分たちで手作りするため安心・安全と人気です。1口分およそ23升で、今年は20口分のしょうゆが作られました。



受賞した窪田支部長（スクリーン）

1 南国市地域

家の光協会会長特別賞を受賞！

女性部南国市地区大篠支部の窪田理佳支部長が、2月18日に福岡県で開催された「第62回全国家の光大会」の家の光記事活用体験発表において、高知県代表として参加しました。大会当日は、全国のJAWA性組織のメンバーやJA役員など約2100人ものが集結。同大会のメインである体験発表では、前日の17日に全国47都道府県代表者が東・中・西日本地区の3ブロックに分かれて発表を行い、各ブロック代表2人を選出します。窪田支部長は西日本ブロック16人の発表者の中から選ばれ、西日本ブロック代表者として記事活用部6人の中にエントリーされました。体験発表では、大篠支部の活動の中で生まれた「大篠子ども食堂」をテーマに発表し、「家の光協会会長特別賞」を受賞。高知県代表者が都道府県代表者大会を突破しブロック代表に選出されたのは、高知県では十数年ぶりで2回目の快挙となりました。



野菜苗の見学をする生産者ら

2 れいほく地域

野菜苗見学で春からの栽培に意気込む

れいほく園芸部は3月26日、高知県種苗センターへ野菜苗の見学に訪れ、れいほく地域の主要品目である米ナス、カライピーマン、シントウ苗の生育状況を確認しました。同センターの野並専務は、「今年は例年と比較して気温も高く、生産者の希望する生育状態で納品するため、かん水管理等慎重に行った」と話しました。ポットの中で大きく成長した苗を前に、生産者からは「生育がよく揃っている」、「茎が太くしっかりした苗だ」などの声があがりました。生産者同士での意見交換も積極的に行われ、定植に向けて意気込みを見せていました。れいほく地域では、3月上旬から5月上旬にかけて雨よけ・露地栽培の定植作業が行われます。今年は、暖冬の影響を受けて越冬している害虫も多いと思われませんが、6月下旬から始まる本格的な出荷に向けて管理作業を徹底して行っていけます。

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

害虫対策を行いましょう

今年は暖冬の影響を受けて越冬している害虫も多いと思われます。また、気象庁が発表した暖候期予報によると、夏(6~8月)も「平年並みか高い気温」になる見込みで、害虫の活動も早くから活発になることが予想されます。そこで、害虫の予防や対策を早めに行いましょう。

1. アブラムシ類



- 【被害】** 排泄物による果実や葉の汚染、ウイルス病の媒介
- 【発生しやすい環境条件】** 乾燥
- 【対策】**
 - ・ 圃場周辺の除草を行い、アブラムシ類の発生源を無くす。
 - ・ ホリバーイエロー(害虫を誘引する粘着板)等の資材を設置し、早期発見につとめる。
 - ・ 発見後、葉裏まで薬がかかるよう丁寧に薬剤防除を行う。

2. アザミウマ類



- 【被害】** ヒラズアザミウマ: 果実のヘタが産卵痕で黒変
ミナキイロアザミウマ: 果実や葉にかすり状の傷を生じる。生長点が縮れる。
- 【発生しやすい環境条件】** 乾燥
- 【対策】**
 - ・ 圃場周辺の除草を行い、アザミウマ類の発生源を無くす。
 - ・ 天敵昆虫を害虫の発生前~低密度の時期に放飼する。
 - ・ ホリバーブルー(害虫を誘引する粘着板)等の資材を設置し、早期発見につとめる。
 - ・ 発見後、花の中にまで薬がかかるよう丁寧に薬剤防除を行う。

3. タバコガ類・ヨトウ類



- 【被害】** 果実、葉の食害
- 【発生しやすい環境条件】** 高温少雨
- 【対策】**
 - ・ 交信かく乱剤であるコンフューザーVを設置し、圃場内での交尾を阻害する。
 - ・ 食害のある果実は、圃場外へ持ち出す。
 - ・ 幼虫が果実内に食入していると、薬剤が効きにくいので、発生後は1週間間隔で2~3回薬剤を散布する。

《注意》

薬剤防除に使用する農薬は、栽培品目によって異なるためお近くのグリーン店舗、または、れいほく営農経済センター(営農販売課)までお問い合わせください。

GAP 掲示板

今月の優良事例

「農薬保管庫の整備で安全を守る」

- 優良ポイント①: 鍵が掛かっている
- 優良ポイント②: 「医薬用外劇物」の表示をしている



(大豊町:土佐甘とう生産者の農薬保管庫)

農薬の保管場所には必ず鍵を掛け、子どもなど使用者以外の人が入れないようにし、誤飲・誤用を防ぎます。また、毒物・劇物の農薬は、「**医薬用外毒物**」・「**医薬用外劇物**」と表示する必要があります。

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

088186312415

梅雨時期のオクラ栽培管理



南国営農経済センター 営農指導課 竹内 啓

○**生理障害(イボ果)**
イボ果の主な原因は、生長のアンバランスが原因と言われ、日照不足・低気温・多湿・窒素過剰・窒素不足等により誘発されます。摘葉をこまめにして風通しや日当たりを良くし、樹勢を適正に保ちながら多湿日照不足などを防ぎます。

○**病害虫防除**
梅雨時期は病害虫が発生しやすいので降雨の前に薬剤の散布を行い、病害虫発生をあらかじめ防除しておきましょう。圃場の周りに風除けを兼ねてソルゴトを花栽する事もアブラムシ等害虫被害の軽減に有効です。

・ 主な病害虫
アブラムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、葉枯細菌病、果実黒斑病

○**追肥**
梅雨期には肥料の流亡を考慮して、草勢をやや強めに維持出来るよう生育を見ながら7~10日おきに、窒素成分で2~3kg/10アールを目安に施用します。

○**側枝の管理**
生育が進むにつれて側枝の発生が多くなるので早めに除去しましょう。側枝が繁茂すると、株の風通しが悪くなり病害虫の発生源となるばかりでなく、作業も煩雑になります。また、養分の分散によって果実の品質も低下しがちになります。

○**灌水**
圃場条件にもよりますが、梅雨が明けた7~8月の高温乾燥期には、4~5日おきに通路灌水を行い、肥料の吸収を促して草勢の維持、果実の品質低下を防ぐようにしましょう。



施設栽培 終了後の処理



南国営農経済センター 営農指導課 小松 寛明

○**害虫野外への飛び出し防止を徹底**
近年、施設野菜類において、アザミウマ類やコナジラミ類の発生が多くなっています。アザミウマ類やコナジラミ類は、キュウリ黄化えそ病や退緑黄化病、トマト黄化葉巻病などのウイルス病を媒介しますが、効果の高い農薬が少なく防除が困難です。これらの害虫は、施設栽培終了後、野外に飛び出し露地作物や雑草において増殖し、次作の発生源となります。

○**施設栽培終了後の防除対策**
施設内に残ったアザミウマ類やコナジラミ類の確実な死滅と、ウイルス病罹病株を確実に枯死させるために、以下の手順を参考に十分な期間を確保し、施設の密閉処理(蒸し込み)を必ず行いましょう。



- 蒸し込みの手順
- 施設内の雑草は除去しましょう。
 - 植物は誘引したまま株元から切りましょう。
※倒して圃場内に積むと内部の温度が上がります。枯れにくいですが、根が繋がって緑が残っていると(植物体内に水分が残っている)と害虫が生きて残ってしまう。根を切断して立った状態で確実に枯らすようにしましょう。
 - 施設を密閉し、蒸し込みを行います。
※施設内の設備が傷まないように対策を行います。
※晴天が続いた場合は5日程度、曇雨天が続いた場合は7日以上密閉を行います。
 - 植物が完全に枯れたのを確認し、残さず持ち出しましょう。
※手で茎がパキッと折れる状態を必ず確認しましょう。他の病害が残りに付いて伝染源となる可能性もあるため、残さは可能な限り持ち出して処分しましょう。
 - 防虫ネット・天井ビニル等を外しましょう。

○**地域ぐるみの防除活動**
アザミウマ類やコナジラミ類は、施設野菜類のみでなく、花き類など多くの作物に寄生するため、地域全体で一体となって飛び出し防止等の対策を行うようにしましょう。

農産物栽培講習会のご案内

家庭菜園向け初心者対象の講習会として開催しております。直販等に出荷されない方もお気軽にご参加ください。

日時内容

令和2年6月17日(水)
13時30分~15時20分

パジル

13時30分~14時
14時10分~14時40分

シヨウガ

14時50分~15時20分

土壌について

14時50分~15時20分

講師

J A 営農指導員

場所

南国営農経済センター2階(南国市上野田3031)

場

※参加ご希望の方は6月16日(火)までに、南国営農経済センター営農指導課(088186312415)まで連絡をお願いします。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

私は月1回室戸のキラメッセに行き、おいしい農産物をいっぱい買っています。今月の賞品が楽しみです。

(十市支所・76歳)

▼「フルティカトマト」美味しかったですね。リニューアルした店内のレイアウトはもう見に行かれましたか？

コロナウイルスで休校中なので、クイズに挑戦しました。

(日章支所・9歳)

▼先生やお友達に会えないと、寂しいですね…。クイズは最後まで解けたかな？

土長地区からこんにちは。今月の気になる人のメイちゃん可愛かった！

(長岡支所・12歳)

▼メイちゃんは、目が大きくて可愛いですね！毎朝ブラッシングして毛並みも綺麗です！

地元で誇りを持って働いている人がたくさんいることを知って、私もこんな大人になりたいと思いました。

(れいほく支所・15歳)

▼各地区には、誇りを持ってお仕事されている方がたくさんいらっしゃいますよ。広報誌を通してこれからもたくさん紹介していきます。

ピーマンの塩昆布和えは、材料があるのだから作る！

(南国中央支所・71歳)

▼家にある材料でババッと作れるレシピは嬉しいですね！

今、コシヒカリの苗が大分青くなりました。4月中旬の田植えに県外の孫たちも「手伝いに行くよ！」など、嬉しい言葉を送ってきてくれています。義母91歳もハウスを見るのが楽しらしく、毎日ハウスまで出かけて元気をもらっているようです。

(大篠支所・67歳)

▼お孫さんの一言が、とても励みになりますね。お義母さんもお元気で、家族みんな仲が良いですね！

イラスト紹介



(南国中央支所・75歳)

▼ハガキ1枚に大きく鮮やかに描いていただいて、ありがとうございます！色使いもセンスも素敵です！



南国

INFORMATION

お知らせ

令和2年度米麦水分計点検

米麦水分計（ケット製ライスター）の点検を行います。希望される方は、水分計1台ごとに①支所名、②住所、③氏名を書いた名札をつけて、購買課又は最寄りの支所、営農渉外担当職員までお持ちください。県外メーカーのため、期日後のお申し込みはお受けできません。

申込期日 令和2年5月29日（金） **対象** ケット製水分計

点検料 未定（決定次第ご連絡します。なお、修理・部品交換は別途必要）

お問い合わせ先 南国営農経済センター購買課（TEL：088-863-2413）

南国

直販店「風の市」新規加入者募集

JA高知県南国市直販店「風の市」は、10月中旬頃から農産物と加工品（総菜や菓子など）を出荷できる方を募集します。ただし、手芸品・木工品などの募集は行いません。各支所に申込書を置いてありますので、希望者はお近くの支所、または南国営農経済センター組合員課までお申し込みください。



なお、申し込みがあった方には後日加入説明会と生産履歴記帳講習会の日程をお知らせします。※説明会、講習会に参加できない方は加入できません。

資格 旧JA南国市管内組合員及びその家族 **募集品** 野菜・花卉・加工品

募集期間 **お問い合わせ先** 南国営農経済センター組合員課 担当：楠瀬・千葉 6月末まで（TEL：088-863-2416）

JA高知県れいほく柚子商品 土佐れいほくゆずゴマ

ゆず風味が香る爽やかなゴマドレッシング。長年に渡って多くの方に親しまれてきた、JAオリジナルの味が自慢の一品です。

内容量 300ml

取扱店 とさのさと、風の市、Aコープとさかざぐるま市

問い合わせ先

高知県農業協同組合れいほく柚子加工場
(TEL：0887-73-0080)

